

「高知県林業安全大会」を開催しました

(平成 29 年 7 月 14 日高知県立歴史民俗資料館)

高知県内においては、近年林業の労働災害は減少しつつありますが、労働災害の発生頻度を示す年千人率は、全国平均の2倍となっており、業界全体として死亡災害を撲滅し、労働災害を大幅に減少させることが、林業で働く人の安全対策や、若年者の雇用促進、また高知県の進める林業の成長産業化につながる事となるため、高知労働局、高知県、林業・木材製造業労働災害防止協会高知県支部の共催により、「高知県林業安全大会」を開催しました。



まず、主催者として稲葉高知労働局労働基準部長、田所高知県林業振興・環境部長からそれぞれ挨拶がありました。



稲葉労働基準部長



田所高知県林業振興・環境部長

その後、高知労働局労働基準部健康安全課の梅原安全専門官が林業2017ゼロ災運動の趣旨、林業における労働災害の現状説明と安全作業への提案を行いました。



梅原安全専門官



福永宏輝氏

続いて高知県林業学校卒業生で須崎地区森林組合所属の福永宏輝氏より、「林業学校入校、卒業、そして就職して思うこと」と題して、林業学校での生活、現在の職場での安全活動について発表され、林業の「K」(キケン、きつい、汚い、給料が安い…)のイメージを「4S」(Safety, Smooth, Smart, Salary)に変えていきたいとの決意表明がありました。

香美森林組合の徳増業務課・森林整備係長より、「再造林地におけるシカ対策および労働安全衛生活動について」と題して、事業体の取組状況について発表がされました。



徳増業務課・森林整備係長



日本労働安全衛生コンサルタント会高知支部長の門田義彦林業安全指導者から「林業の安全衛生対策について」と題して、労働災害発生に伴う経営者としての刑事責任、民事責任や安全配慮義務を元に、安全活動についての講演がされました。

門田義彦林業安全指導者

最後に高知県森林組合連合会の杉本大勇氏が参加者130名の前で「大会宣言」を読み上げ、参加者全員でゼロ災唱和により労働災害防止を誓い、林業・木材製造業労働災害防止協会高知県支部の谷副支部長が閉会の挨拶を行いました。



杉本大勇氏



林災防高知県支部谷副支部長



ゼロ災唱和「ゼロ災でいこう ヨシ！」

ご安全に！

